



大阪ガス住宅設備



大阪ガス住宅設備

取扱説明書

本社・支社所在地および電話番号表

本社・ガスビルサービスセンター	大阪市東区平野町5-1	電話	大阪 06 (202) 2221	☎541
南支社	大阪市西成区玉出東2-9-41	電話	大阪 06 (652) 0001	☎557
北支社	大阪市淀川区十三本町3-6-35	電話	大阪 06 (301) 1251	☎532
堺支社	堺市住吉橋町2-2-19	電話	堺 0722 (38) 1131	☎590
北摂支社	高槻市森の里町39-6	電話	高槻 0726 (71) 0361	☎569
神支社	西宮市和上町4-11	電話	西宮 0798 (26) 3101	☎662
東部支社	東大阪市稲葉2-3-17	電話	河内 0729 (62) 1131	☎578
阪支社	枚方市西田宮町16-17	電話	枚方 0720 (41) 1251	☎573
神戸支社	神戸市中央区相生町5-13-10	電話	神戸 078 (576) 5231	☎650
京都支社	京都市中京区烏丸御池梅屋町358	電話	京都 075 (231) 8151	☎604
奈良支社	奈良市学園北2-4-1	電話	奈良 0742 (44) 1111	☎631
和歌山支社	和歌山市本町1-1-1	電話	和歌山 0734 (31) 2481	☎640
姫路支社	姫路市神屋町4-8	電話	姫路 0792 (85) 2221	☎670
東播支社	加古川市加古川町栗津29-1	電話	加古川 0794 (21) 1801	☎675
豊岡支社	豊岡市三坂町6-57	電話	豊岡 07962 (3) 2221	☎668
南支社	草津市追分町宇荒堀680-1	電話	草津 0775 (62) 5311	☎525
彦根支社	彦根市大東町12-11	電話	彦根 0749 (22) 3131	☎522
(長浜営業所)	長浜市南興服町3-4	電話	長浜 07496 (2) 7171	☎526

大阪ガス住宅設備
南大阪住設営業所

堺市砂道町1丁3-1 電話 堺 0722(27)1761~2 ☎590

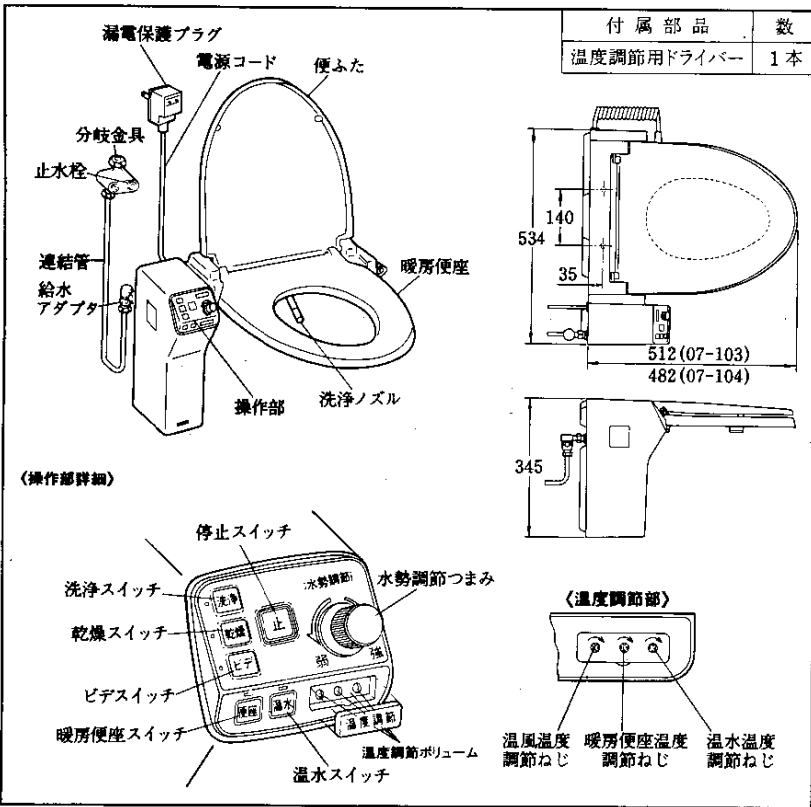
温水トイレ 07-103・104型 (水道直結タイプ)

器具を正しくお使いいただくためのご利用上の注意及び取扱い書をお読みのうえ、

このたびは温水トイレをお買い上げ
いただき、まことにありがとうございます
이었습니다。

取扱説明書は、大切に保存しておい
てください。

各部の名称

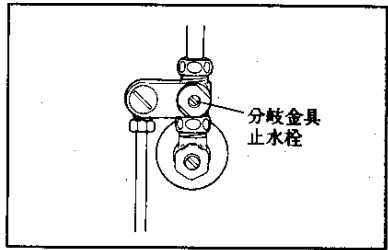


付属部品	数
温度調節用ドライバ	1本

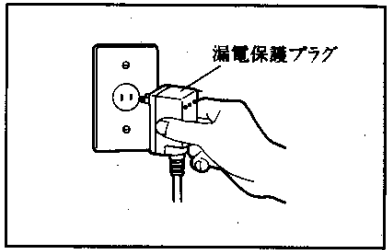
(操作部詳細)

ご使用前に

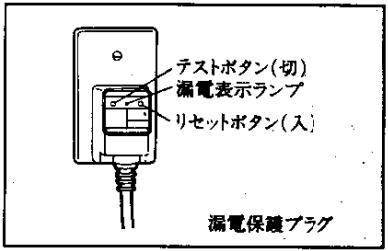
1. 分岐金具止水栓が開いているか確認してください。止水栓が閉じている場合は、ドライバで止水栓を開いてください。



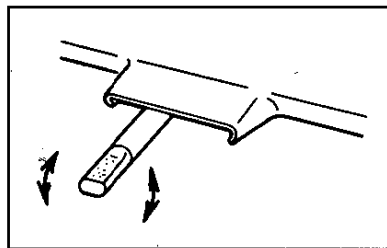
2. 交流100Vのコンセントに漏電保護プラグを根元まで確実に差込んでください。



3. 漏電保護プラグの作動をテストしてください。
 テストボタン(切)を押すと、漏電表示ランプが点灯しリセットボタン(入)を押すと、漏電表示ランプが消灯すれば正常です。
 漏電表示ランプが点灯している状態では、通電されませんのでテスト後は必ずリセットボタン(入)を押してください。

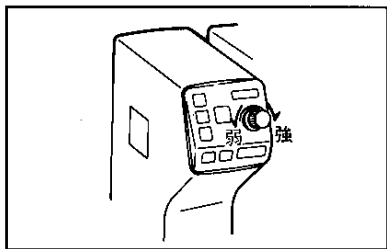


4. 洗浄スイッチ(又はヒデスイッチ)を押して、ノズルからの吐水状態が安定するまで吐水させてください。吐水中は手のひらで洗浄水を受けるなど、周囲に飛び散らないようにしてください。



このとき、洗浄水の噴出方向が中心からずれている場合にはノズル先端部分を回転させて噴出方向を調節してください。

5. 水勢調節つまみを操作して、水勢を調節してください。水勢調節が適切でないと吐水されない場合があります。



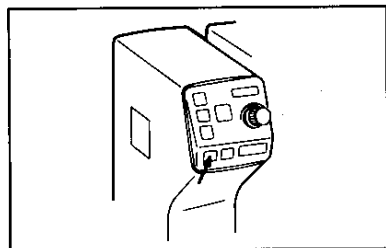
使用方法

1. 暖房便座使用方法

暖房便座スイッチを押してください。便座表示ランプが点灯すると同時に通電されます。再びスイッチを押せば、通電は止まり表示ランプも消灯します。

※便座温度は常時適温が保たれるようマイコン制御されます。なお、スイッチを入れてから暖まるまで約10分かかりますので、ご使用前にあらかじめ、スイッチを入れておいてください。

なお、便座スイッチは停電すると自動的に「切」の状態にもどります。

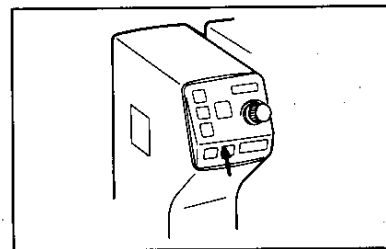


2. 温水スイッチの使用方法

温水スイッチ付ですので夜間など、長時間使用しない場合は温水ヒータへの通電を切ることができます。

温水スイッチを押すと温水ヒータへの通電が止まり、再びスイッチを押せば通電されます。

※通電後、沸き上がるまで約5分程度かかりますのでご使用前にあらかじめスイッチを入れておいてください。

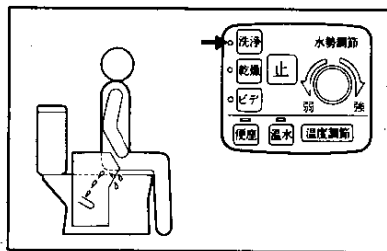


3. 洗浄方法

便座に腰をかけたまま、次の操作を行ってください。

① 肛門洗浄の場合

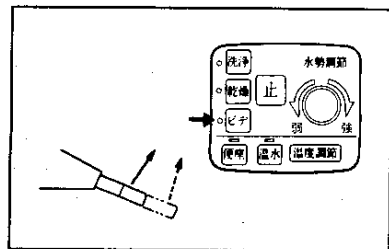
洗浄スイッチを押してください。ノズルが自動的に洗浄された後、肛門洗浄位置まで伸出し、温水が噴出して局部を洗浄します。洗浄が終わったら、停止又は乾燥スイッチを押してください。



② ビデ洗浄の場合

ビデスイッチを押してください。ノズルが、自動的に洗浄された後、ビデ洗浄位置まで伸出し温水が噴出して局部を洗浄します。

洗浄が終わったら、停止又は乾燥スイッチを押してください。



水勢の調節

水勢が適切でない場合は、水勢調節つまみをゆっくり回して適正な水勢に調節してください。なお、洗浄中に体を若干動かすと、洗浄効果を高めます。

ご注意

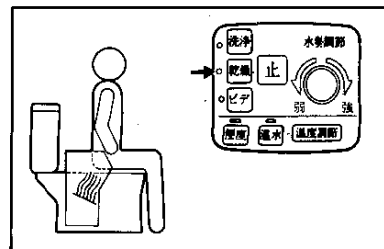
- 洗浄中にノズルのわきからも吐水されますが、これは機能上、必要なもので異常ではありません。
- 「洗浄」から「ピテ」（「ピテ」から「洗浄」）へと切替える場合は、停止スイッチを押さなくても、次のスイッチを押すことで切替えできます。
- 洗浄・ピテ・乾燥スイッチは、消し忘れタイマー付となっていますので、万一、停止スイッチを押し忘れた場合でも洗浄・ピテは約5分、乾燥は約10分経過すると自動的に停止します。
- 使用途中に、停電した場合は、吐水は止まりノズルは伸出した状態で動かなくなります。無理に押し込んだりせず、そのままにしておいてください。通電開始と同時にノズルは自動的に停止位置に戻ります。

4. 乾燥方法

便座に腰をかけたまま、乾燥スイッチを押してください。温風吹き出し口から温風が出て局部を乾燥します。このとき、温風が局部に十分あたるように体を若干動かしてください。

なお、あらかじめ、トイレットペーパーで水滴をとっておくと早く乾燥します。

乾燥が終わったら、停止スイッチを押してください。



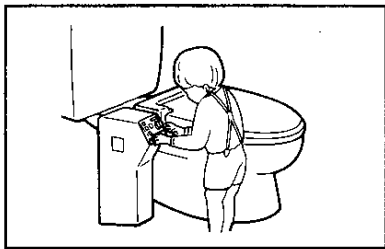
使用上の注意

安全にご使用いただくため、次の点は必ずお守りください。

1. 水がかかったり、表面に結露を生じるような、湿気の多い場所での使用は避けてください。特に浴室内では使用しないでください。(故障や事故を起こすことがあります)



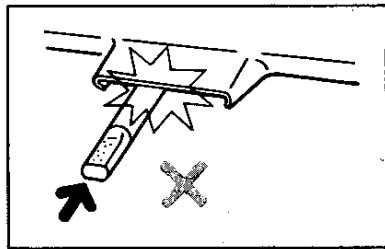
2. 小さなお子様や、お年寄りなどが使用される場合は、取扱いなどについて十分注意してあげてください。



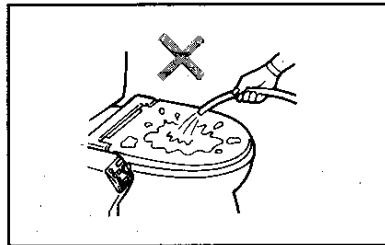
3. 下半身麻ひなど温度感覚のない方が長時間ご使用のときは、低温やけどをおこすことがありますので、暖房便座スイッチを「切」にしてご使用ください。また乾燥についても温風温度を普通よりも低目に調節してご使用ください。

4. 洗浄中に断水したときは、必ず停止スイッチを押してノズルを元の位置に戻しておいてください。

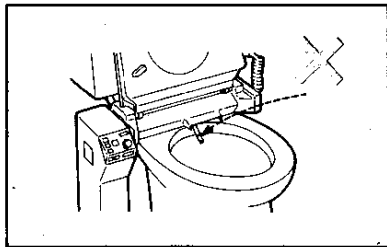
5. 洗浄中に停電したときは、そのまましておいてください。再通电されると自動的にノズルは元に戻ります。ノズルは無理に押し込まないでください。



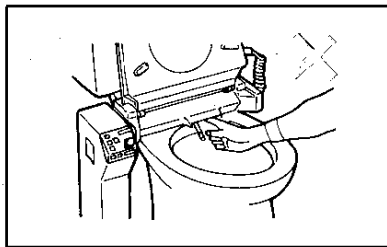
6. 本体や便座に水や汚水などをかけないでください。(湿気で故障することがあります)



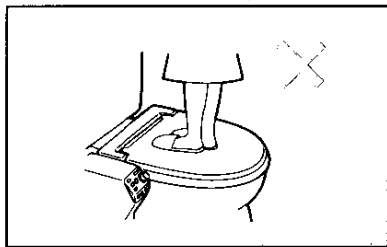
7. 洗浄ノズルに小便がかからないように、ご注意ください。



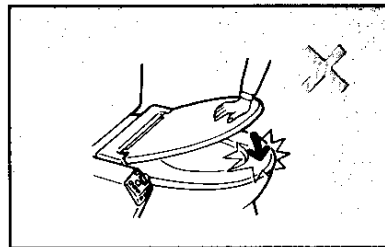
8. 温風吹出し口に、指を入れたり、ふさいだりしないでください。



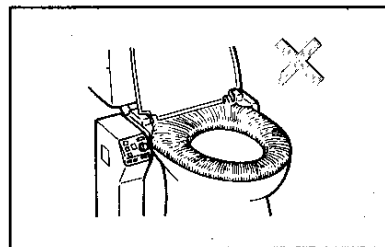
9. 便ふたや本体の上に乗ったり、重いものを乗せないでください。(割れたり故障することがあります。)



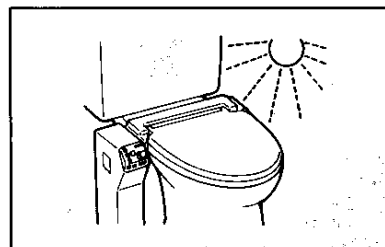
10. 便座及び便ふたの開閉は乱暴に行わないでください。(割れたり故障することがあります)



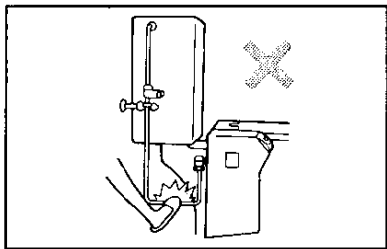
11. シートウォーマ(便座カバー)、トイレカバー(便ふたカバー)は水滴でぬれることや便座が立たないことがありますので取付けできません。



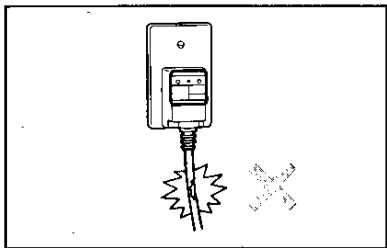
12. 直射日光が当たらないようにしてください。(変色することがあります)



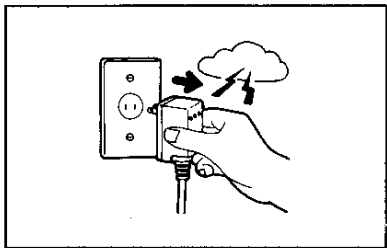
13. 連結管に力を加えないでください。(抜けることがあります)



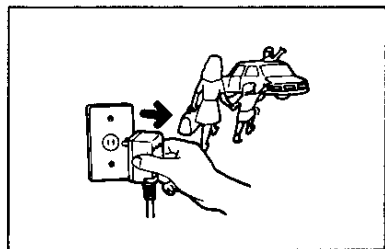
14. コードが傷んだままで使用したり、ガタついているコンセントで使用しないでください。(火災の原因となります)



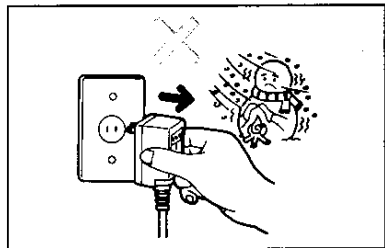
15. 雷が発生しているときは、漏電保護プラグを抜いてください。



16. 長期間使用しないときは、凍結の恐れがない限り、漏電保護プラグを抜いておいてください。



17. 凍結のおそれのある場合は、温水トイレの凍結防止のため漏電保護プラグを抜かないでください。
このとき、温水スイッチは「入」の状態にしておいてください。



18. 長期間使用しなかった場合は、洗浄スイッチ(又はビデスイッチ)を押し吐水量を強めて2～3分間吐水させ、残留水を吐水させてから使用してください。
このとき、便器と便座の間にビニール袋等をあてがって洗浄水が周囲に飛び散らないようにしてください。

温水・温風・暖房便座の 温度調節について

温水・温風・暖房便座の温度は適温になるように調整していますので、調節の必要はありませんが、どうしても不具合な場合は温度調節のふたを外し、以下の方法で調節してください。

1. 温水温度を調節するとき

温水温度調節ねじを右に回すと高く、左に回すと低くなります。(30℃～41℃まで調節可能)温度が安定するまで約3分かかります。温度が安定してから適温かどうか確認してください。

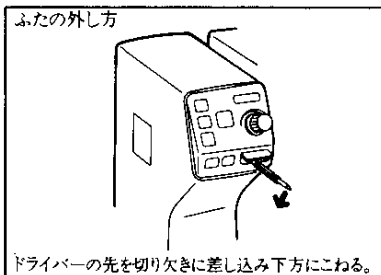
安定温度の吐水時間は1分です。連続して1分以上吐水させますと温度は次第に下がります。

2. 温風温度を調節するとき

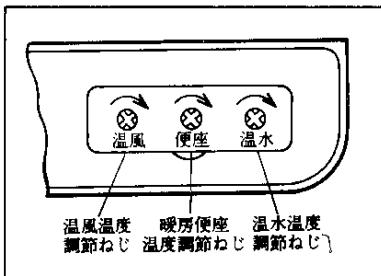
温風温度調節ねじを右に回すと高く、左に回すと低くなります。(35℃～55℃まで調節可能)

3. 暖房便座温度を調節するとき

暖房便座温度調節ねじを右に回すと高く、左に回すと低くなります。(25℃～40℃まで調節可能)便座温度が安定するまで約10分かかります。適温であるかどうかは便座温度が安定してから確認してください。



ドライバーの先を切り欠きに差し込み下方にこねる。

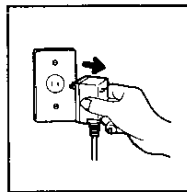


<p>※各調節ねじは270°以上回りません。絶対に無理に回さないでください。</p>	<p>回転角度 270°</p>
--	----------------------

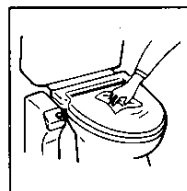
お手入れの方法

1. お手入れの際は次の点にご注意ください。

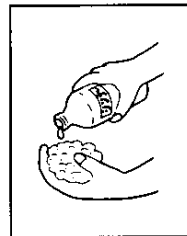
①お手入れの際は、必ず漏電保護プラグを抜いてください。プラグを抜くときは、プラグを持って抜いてください。



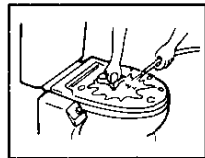
②通常は、乾いた布でふいてください。汚れがひどいときは、適量にうすめた食器用中性洗剤を含ませた布でふきとってください。消毒は、逆性石けんを適量にうすめて使用してください。なお、めっきした金具は、ときどきシン油やカーワックスでふくといつまでも美しい輝きを失いません。



③酸性やアルカリ性のトイレ用洗剤、ベンジン、シンナー及びクレンザー、たわしなどの使用は本体を傷めますので絶対にやめてください。



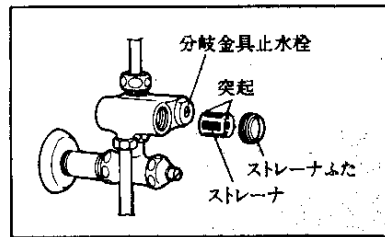
④本体や便座に水をかけて洗わないでください。(内部の部品が傷むことがあります)



2. ストレーナの掃除

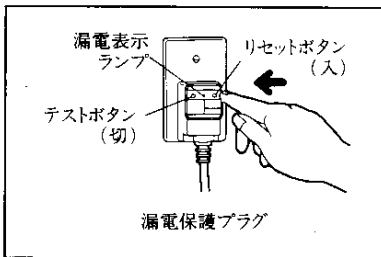
適正な洗浄水が得られなくなったときは、次の手順でストレーナを掃除してください。

- 1) 分岐金具の止水栓を閉める。
- 2) ストレーナふたをドライバーではなく、
- 3) ストレーナを取り出してブラシなどで掃除する。
- 4) ストレーナを元の位置にもどしストレーナふたを取付ける。ストレーナは突起部をふたに差込んだ後、本体に組み込んでください。



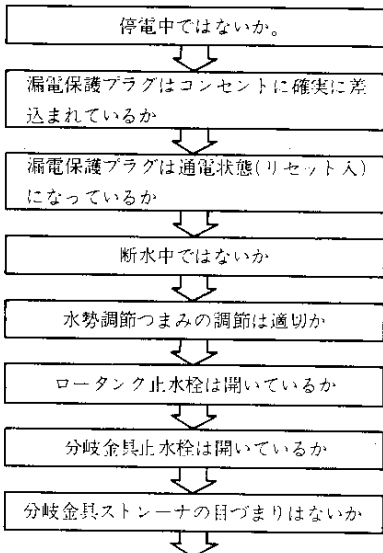
点検・修理

1. 漏電保護プラグは、月1～2回程度作動テストしてください。テストボタン(切)を押すと、漏電表示ランプが点灯し、リセットボタン(入)を押すと漏電表示ランプが消灯する状態が正常です。漏電表示ランプが点灯している状態では、通電されませんのでテスト後は必ずリセットボタン(入)を押してください。
2. 次のような場合は、お買上げ店にご相談ください。
 - ④取扱説明書に従って使用されてもさらにご不審な点があるとき。
 - ⑤使用中に異常を発見されたとき。
なお修理の依頼先などご不明な点がありましたら、最寄りの弊社支社又は営業所にご連絡ください。
3. 修理には特殊な技術が必要です。ご自身の修理は絶対にやめてください。



修理を依頼される前に

修理を依頼される前には、次の確認を行ってください。



以上の確認をしてもなお、異常のある場合は次ページの「故障内容の確認方法」で故障内容を確認し、お買上げ店または、最寄りの弊社支社又は営業所へご連絡ください。

故障内容の確認方法

停止スイッチを押し続けると操作部の各表示灯が故障表示モニターに切替わります。

- 停止スイッチを40秒間押し続けてください。
 - ①停止スイッチを押してから30秒経過すると全表示灯(乾燥は除く)が2秒間点灯し、その後故障表示モニターに切替わります。
 - ②故障表示モニターで、各表示灯の点灯状態を下表と照合することで、故障内容がわかります。
 - ③停止スイッチを放すと故障表示モニターは解除されます。

○:点灯

×:消灯

	故障内容	表示灯				
		温水	便座	ビデ	洗浄	乾燥
1	正常	×	×	×	×	×
2	ノズル位置制御不良	×	×	×	○	×
3	ノズル収納不良	×	×	○	×	×
4	ノズル伸出不良	×	×	○	○	×
5	入水温センサー断線	×	○	×	×	×
6	出水温センサー断線	×	○	×	○	×
7	コントローラ異常(出水温系)	×	○	○	×	×
8	コントローラ異常(入水温系)	×	○	○	○	×
9	コントローラ異常(温水温度異常上昇)	○	×	×	×	×
10	温風センサー断線	○	×	×	○	×
11	コントローラ異常(温風系)	○	×	○	×	×
12	便座センサー断線	○	×	○	○	×
13	コントローラ異常(便座系)	○	○	×	×	×

※故障表示モニターで正常を示しても製品に異常がある場合は弊社支社又は営業所に御連絡ください。

保証

- 1.本製品は、お取付日から1ヵ年保証です。
保証書はお買上げ店からお渡しますので必ず「お買上げ店名、無料修理期間」等の記入をお確かめになり、保証書内容をよくお読みの上、大切に保存してください。
- 2.保証期間中に修理を依頼される時。
お買上げ店又は弊社支社又は営業所に保証書を添えて修理を依頼してください。保証書の記載内容により修理いたします。
- 3.保証期間経過後修理を依頼される時。
お買上げ店にまずご相談ください。修理により製品の機能が維持できる場合には、ご要望により有料で修理いたします。

水洗便器使用のご注意

- 1.新聞紙・紙おむつ・生理用ナプキン等、詰まりやすい物は流さないでください。
- 2.鉛筆・ボールペン・くし・歯ブラシ等の物は内部でつかえますので、もし誤って便器に落とした場合には水を流す前に必ず拾い出してください。
- 3.万一、詰まった時には市販の吸引器(商品名ラバーカップなど)を使用して除去してください。吸引器の使用法は便器の入口に静かに強く押しつけ、急に手前に引っぱってください。
詰まったままで水を流しますと便器から汚水があふれて床を汚すことがあります。
- 4.便器に汚物が付着して洗浄しても容易に落ちない時はブラシで掃除してください。
※ブラシや吸引器は、各ご家庭で常備されることをお勧めいたします。

仕様

定 格	交流 100V-868W 50/60Hz	
電 源 コ ー ド	1.25mm ² ビニルキャブタイヤコード有効長1.5m(漏電保護プラグ付)	
洗 浄 装 置	吐水量	肛門用 標準 500cc/分 ビデ用 標準 700cc/分
	吐水温度	マイコン制御 標準 38℃(調節ねじで30℃~41℃まで調整可能)
	ヒーター	シーズヒーター (800W)
	開閉弁	電磁弁 (9W)
	ノズルモーター	シンクロナスモーター (3W)
	安全装置	温度ヒューズ・温度過昇防止器(手動復帰式バイメタル) フロートスイッチ
乾 燥 装 置	温風温度	マイコン制御 標準 50℃(調節ねじで35℃~55℃まで調整可能)
	ヒーター	コイルヒーター (350W)
	モーター	コンデンサモーター (20W)
	安全装置	温度ヒューズ
暖 房 便 座	表面温度	マイコン制御 標準 36℃(調節ねじで25℃~40℃まで調整可能)
	ヒーター	シリコンチュービングヒーター (54W)
	安全装置	温度ヒューズ・温度過昇防止器(自動復帰式バイメタル)
漏電保護プラグ	15mA 0.1秒以内で作動	
電源ヒューズ	10A	
給水圧力	最低必要水圧 0.5kg/cm ² 最高水圧 7.5kg/cm ²	
周囲使用温度範囲	0℃~40℃	
標準寸法	洗落し便器用	幅 54cm 奥行 50.5cm 高さ 35cm
	その他の便器用	幅 54cm 奥行 53.5cm 高さ 35cm
標準重量	10kg	